

令和7年度 電子黒板購入仕様書

1. 品名・型番及び数量

品 名・規 格・仕 様	メーカー型番	数 量	納入 場所	摘 要
ウルトラワイドプロジェクター ワイドプラス 専用壁掛金物を使用し、取付 専用コネクタボックスを接続	SAKAWA SP-UW4500	5	海南小1 海部小1 穴喰小1 海陽中1 穴喰中1	別添仕様書
ワイド専用壁掛金物	SAKAWA KM-CR001	5	海南小1 海部小1 穴喰小1 海陽中1 穴喰中1	
ワイド専用コネクタボックス	SAKAWA UW-BOX3	5	海南小1 海部小1 穴喰小1 海陽中1 穴喰中1	
HDMIケーブルセット	SAKAWA XCTH-07	5	海南小1 海部小1 穴喰小1 海陽中1 穴喰中1	
保守延長 4年 ワイドセンドバック方式	SAKAWA MS-UW04	5	海南小1 海部小1 穴喰小1 海陽中1 穴喰中1	
映写タイプ サンヤクホワイトボード W4200mm×H1355mm 既設黒板張替え	SAKAWA	1	海部小	
映写タイプ サンヤクホワイトボード W3600mm×H1200mm 既設黒板張替え	SAKAWA	2	海陽中1 穴喰小1	
映写タイプ サンヤクホワイトボード W4500mm×H1200mm 既設黒板張替え	SAKAWA	2	海南小1 穴喰中1	

2. 設置・取付場所（右記、取付予定場所）

海南小学校	6年生教室
海部小学校	4年生教室
穴喰小学校	6年生教室
海陽中学校	2年生教室
穴喰中学校	2年生教室

納入機器は、安全面に配慮し体裁よく取付ること。

黒板の張替えについては、既設黒板の張替えを実施すること。張替えは、メーカーの推奨する方法で実施すること。

3. 納入期限

令和8年1月7日（水）

4. 納入場所

- ①海陽町立海南小学校 徳島県海部郡海陽町四方原字旭町50番地
- ②海陽町立海部小学校 徳島県海部郡海陽町奥浦字堤ノ外44番地
- ③海陽町立穴喰小学校 徳島県海部郡海陽町久保字松本88番地
- ④海陽町立海陽中学校 徳島県海部郡海陽町大里字松原34番地83
- ⑤海陽町立穴喰中学校 徳島県海部郡海陽町久保字北田5番地

5. 特記事項

- ①納入機器は、新品であること。
- ②納入に先立ち、本仕様書に基づき担当者と十分な打ち合わせを行うこと。
- ③本仕様書の細部について疑義が生じた場合は、担当者の指示を受けること。
- ④納入後、各学校ごとに取扱い説明を実施すること。

ワイド仕様書

項番	機器	数量		項目	SP-UW4500の仕様書案
		学校			
1	プロジェクター	海南小学校 海部小学校 穴喰小学校 海陽中学校 穴喰中学校	1台 1台 1台 1台 1台	明るさ	アスペクト16:6での投影時に、4500lm以上の明るさがあること。 ない場合は仕様に沿って、アスペクト比4:3以上及び4500lm以上投影可能なプロジェクターを1カ所あたり2台設置すること。
				パネル解像度	1920×720 以上
				投影サイズ	130 インチで投影可能であること アスペクト比16:6 で投影可能、なおかつ、アスペクト比16:9 と4:3 の投影も可能であること 一般的な3,600mm×1,200mm の黒板に投影する際に、投影画面を横幅3,000mm 以上確保できること(但し、電子ペンを使用する場合は横幅2,800mm 以上確保できること)
				設置方法	壁掛金具を使用し壁面に取り付けられること 卓上での使用も可能であること
				投影距離	130 インチのサイズを映す際、投影面からプロジェクター本体まで、最短約59cmの距離で投影可能な超短焦点型であること
				光源	DLP方式(レーザー光源)
				音声	プロジェクター本体に16W 以上のスピーカー内蔵していること
				重量	6kg以下
				防塵機能	IP5X相当があること。
				フィルター	フィルターレス
				補正機能	台形補正機能を有すること 曲面補正(歪み補正)機能を有すること(12点以上の頂点の画角調整が行えること)
				インタラクティブ機能	投影された映像上を付属の電子ペンでタッチすることで、接続したPCのマウス操作を行えること タッチ位置の校正が手動と自動でできること
					ペンツール、ガイド表示機能、画面分割機能、全画面書き込み機能を有する専用ソフトウェアが付属すること
				専用ソフトウェア (Windows端末用)	ペンツール(デジタルインク)により、それぞれのウィンドウに対して書き込みが行え、ウィンドウに書き込んだ内容はウィンドウを最小化しても保持されていること
					ペンツールは、「戻る・進む」機能を有すること
					ペンツールは、色・線種(実線・破線)・太さ・透明度の変更ができること
					ペンツールと通常のマウスモードとの切り替えは、メニューパレットで各ツールボタンを選択して切り替えるのではなく、同一のボタンで即座に切り替えができること
					投影面全体にガイド(グリッド線や罫線など)を表示する機能を有すること。
					ガイドは標準で5パターン以上有すること
					ガイドは、幅の調整ができ白黒反転ができること
					左右2分割、上下2分割、3、4、8分割の任意のレイアウトでウィンドウを整列配置できること
					左右2分割でウィンドウを配置した際に、左右のウィンドウ幅が連動して変更できること
					ペンツールによる書き込みを含んだ画面全体を保存できること
					全画面書き込み機能使用時の書き込み領域は拡張できること
					ソフトウェアのボタンおよびメニューの背景は、任意の画像に変更ができること
					ペン操作により、使用者の手元にメニューアイコンを呼び寄せる機能を有すること
					投影画面を左・中央・右へとリモコン操作でスライド移動できること(スライドの際のリモコン操作は、左・中央・右いずれにおいても1回のボタン操作で完了できること)
				その他機能	画面を左右均等に分割し、それぞれに別系統の映像を出力する「PBP機能」を有すること
					メインの画面の中に小さな独立した領域を設けて別系統の映像を出力する「PIP機能」を有すること
				入出力端子	HDMI入力端子：2以上 VGA入力端子、VGA出力端子、USB端子、音声(ステレオミニ)端子：各1以上
				付属品	電源コード、HDMIケーブル、USB ケーブル、リモコン、マニュアル、IRペン×2、交換用ペン先×8